わだちとわ

NARA COLLEGE of ARTS
2022
轍と輪

奈良芸術短期大学 広報誌「わだちとわ」VOL.10
発行／奈良芸術短期大学
企画編集／広報課　デザイン・印刷／グラフトデザイン事務所　発行日／2022年10月22日

VOL.
10
2022
10



編集後記

奈良芸のSNSをご存知ですか？「わだちとわ」では、奈良芸のニュースをピックアップしてお届けしていますが、SNSではリアルタイムな情報が配信されています。Twitter、Instagram、facebookでは、オープンキャンパスの情報や奈良芸の日常を紹介していたり、卒業生や先生の展覧会情報などを配信。他にも、ちょっとした質問などはLINEチャットでお答えしたり、YouTubeでは本学の説明や学内案内、イベントなどを動画配信しています。是非チェックしてくださいね。

広報課では、学生や卒業生の活躍を紹介し、さまざまなところへ繋げて行きたいと考えています。皆様の活躍の報告を楽しみにしています。

定期購読サービスご利用案内

卒業生の“今まで”と、在学生の“これから”を軸とし、1つの輪として展開する「わだちとわ」（年2回発行）の定期購読をご希望の方は、送付先を広報課までご連絡ください。また、「わだちとわ」では卒業生の受賞や活動報告なども募集しています。

美術科
- 洋画
- 日本画
- デザイン
  - ・グラフィックデザイン
  - ・メディアデザイン
  - ・イラストレーション
- 陶芸
- 染織
- クラフトデザイン
  - ・メタル
  - ・ガラス
  - ・テキスタイル
  - ・アートジュエリー
  - ・ウッド
  - ・レザー

専攻科

学内見学や相談は、オープンキャンパスや行事以外でもお気軽に広報課までご連絡ください。
〒634-0063 奈良県橿原市久米町222　TEL:0744-27-0625　E-mail: info@naragei.ac.jp

詳しくはHPへ　奈良芸
www.naragei.ac.jp

洋画コース

在学生×卒業生

奈良芸で交差する素敵な巡り会いを、それぞれの未来へつなげてください。



在学生／柴田 一花さん
専攻科／洋画1回生（愛知県出身）

卒業生／横井 里美さん
2014年3月 洋画コース卒業
2016年3月 専攻科／洋画修了
（和歌山県出身）

在学生／石川 海里さん
専攻科／洋画1回生（沖縄県出身）

のびのびと制作に取り組める環境と親身な先生方。

石川・柴田　よろしくお願いします。

横井　はい、よろしくお願いします。

石川　奈良芸に入学されて、洋画コースで学んで良かったと感じることはありますか。

横井　高校生の時には美術部で油絵を描いていたのですが、その時の先生が奈良芸は静かな環境でしっかりと学べるので、私に向いていると勧めてくださったことがきっかけで受験しました。

石川　確かに環境が良いですよね。

横井　そうですよね。同じ志で入学したクラスメイトと共に、オープンな空間でのびのびと自由に制作に取り組めましたね。そして実績や経験が豊富な先生方に出会い、これまで学んだことのなかった古典技法や壁画制作、版画などに取り組みました。制作の中でたくさん悩みもしましたが、そのお陰で自分の中で絵がより大切なモノになった気がしています。

石川　先生方は凄く親身になってくださいますよね。

横井　そう、親ですかってくらいにね。笑

石川　そうなんですよ。笑　一人ひとりにちゃんと時間をかけてくださいますよね。厳しさもありますが、自分のためになることがわかるので嬉しいです。

学費、女子寮、教員免許取得が入学の決め手。

横井　お二人はどうして奈良芸に入学されたんですか。

石川　私も横井さんと同じで、オープンキャンパスに参加した時、自然に囲まれた環境でのびのびと絵を描けたことに感動して、この環境に身を置けば良い作品が描けると確信できたことと、実技中心のカリキュラムに魅力を感じたので受験することを決めました。

横井　そうなんですね。柴田さんはどうですか。

柴田　私の場合、学費が他大学と比べて低額だったことがあります。

横井　それ！学費が低額なのが良いですよね。

柴田　そうですね。それと女子寮があったり、2年間で中学校美術教諭の資格を取得できることが受験の決め手になりました。

石川　女子寮は友達がたくさんできるので本当に良いです。奈良芸は全国から学生が集まるので、色んな地域の人と繋がりができるのも魅力です。



ギャラリー経営と作家活動。

柴田　横井さんは卒業してからどのような経緯で今に至りましたか。

横井　美術科を卒業するときに就職することも考えたのですが、やっぱり絵を描くことに携わりたいと思い、専攻科に進学してさらに専門的な技術や知識を学びました。それから中学校美術教諭の資格も取得しました。その後、奈良の伝統工芸品をベースにした生活雑貨を扱う会社に入社して、百貨店などで5年間販売業務をしていました。その傍ら、個展を開催したりアクセサリーの委託販売などをしていたので、それが今のギャラリー経営のベースになっていると思います。





石川　こういう場所で人と繋がれるのは、本当に良いなって思います。少し前に個展をした際、私自身と作品の両方をたくさんの方に知っていただくことが大事なんだと感じました。

横井　人との繋がりって本当に大事なんですよ。奈良芸の先輩でギャラリー経営をされている方がいて、その方にもいろんなアドバイスをいただきますし、このギャラリーでもたくさんの方との関わり合いの中で日々が成り立っているなって思います。

モノづくりを通して誰かの役に立ちたい。

横井　お二人は卒業後どうされるんですか。

石川　まだ職種までは特定できていないのですが、授業の一環で民間会社の倉庫や幼稚園のトイレで壁画制作をさせていただいた際、自分たちがつくったモノを見て喜んでくださる方々を間近で見た時、絵が持つ力って凄いなって思いましたし、自分が培ってきた知識や技術を使うことで誰かが喜んでくださるのであれば、今後もモノづくりをする側に立って誰かの役に立ちたいと思いました。



柴田　私も職種までは特定していませんが、モノづくりに携わっていたいと思いますし、絵は一生描き続けたいと思っています。

横井　最近は働きながら絵を描くスタイルも、バランスが良くていい気がします。忙しくてなかなか絵を描けない時期もあると思いますが、描き続けることが大切だと思います。



好きなモノが同じ人が集まる場所は特別。

横井　私自身、大学受験の頃には色んな大学を見学しましたし、さまざまなコースで体験授業を受けましたので、芸大を志すならとにかく沢山経験することが大事だと思います。オープンキャンパスでは得意不得意関係なく試してみると良いと思います。その中で自分に合う場所や、興味があるモノを見つけてください。自分と好きなモノが同じ人たちが集まる場所は、とても特別です。その場所を見つけることができれば、日々楽しい時間を過ごすことができると思います。



Profile
横井 里美さん
Gallery Shop + Atelier hibiオーナー

興味を持つ。面白いと感じる。
こんな気持ちがあれば挑戦してください。

2年間で着物づくりが学べる。

小さい頃から絵を描くことが好きで、中学生の頃には芸大に進学したいと思うようになっていました。そして、高校生の時に大学の卒業制作展で見た染織作品が、自由な発想で制作されていてとても印象的だったので染織に興味を持つようになりました。同時に海洋生物にも興味があり、それらを学ぶことができる大学への進学も視野に入れていたので、進路選択の時には芸大進学と迷いましたが、宮崎大学海洋生物環境学科を受験し、そこで4年間海洋生物について学びました。卒業後、大学院で更に2年間学ぼうかと考えましたが、同じ2年間学ぶのであれば、以前から興味のあった染織を学びたいと思い、改めて芸大進学を志すようになりました。そして、実技中心のカリキュラムで2年間で着物制作まで学ぶことができる奈良芸を受験することに決めました。

自分をしっかりと持っている学生たち。

入学してからは、黙々と制作に取り組んでいた気がします。奈良芸の学生は、絵を描くことやモノづくりなどに興味があり、それらを学ぼうと進路決定して入学してきているので、自分をしっかりと持っている人が多かったです。私は未経験で入学したので不安はありましたが、美術系高校出身のクラスメイトの多くが、入学してから初めて学ぶことが多いと言っているのを聞き、不安は無くなりました。

海中で作品展示、アクアアートという世界。

染織コースには、海中で作品展示をするというアクアアート活動をされている先生がいらっしゃいました。その先生が、私が海洋生物を学ぶ大学に通っていたことでスキューバダイビングができるということを知り、その活動に誘ってくださったんです。奄美の海にたくさんの作家の方たちと一緒に潜り作品展示のお手伝いしたことで、浮力や水圧を感じながら光線の中で見るアクアアートという世界を知ることができました。本当に貴重な体験でしたし、すごく良い思い出になっています。

商品開発と作品づくりの共通点。

宮崎県で大学生活を過ごした際、霧島酒造が身近な存在になったことで酒造業界に興味を持つようになり、奈良芸での就活の頃に霧島酒造ホールディングス株式会社への就職を志すようになりました。現在は商品開発課に所属し、研究チームから上がってきた商品のアイデアを、他部署と協力しながら商品化していく仕事をしています。その中で、商品ラベルやパッケージを決める時、たくさんのデザイン案を出して何度も会議を重ね、さまざまな過程を経て完成させるのですが、作品づくりにおいても、ひとつの作品を完成させるためにたくさんのアイデア出し、さまざまな工程を経て何度も試行錯誤を繰り返して完成させるので、学生時代の学びが活きていると実感しています。また、霧島クラフトコーラという商品を販売する際に制作したリーフレットに、私が描いたイラストが採用された時も自分の好きなことが活かせて、凄く嬉しかったです。今後は自分が担当した商品が販売されるように頑張りたいと思っています。また、大学時代のような大きな作品づくりは難しいですが、タブローなどの染織作品をつくっていきたいと思っています。







興味のあることに取り組み、続ける。

芸大に進学すると専門分野を学びます。その中で大変だと感じることがあるかもしれませんが、できる限り楽しみながら取り組んでほしいと思っています。そして、それらの学び以外にも自分自身で色んなことに挑戦してみてください。視野が広がると思います。私は、海洋系と染織で学んだ両方を卒業制作作品で活かそうと思い、海をモチーフにした「海の花」というタイトルの着物を制作しました。興味を持ったり面白いと思ったことには挑戦して続けてみてください。



田中 はな
海の花
染　振袖

Profile
田中 はなさん

大阪府出身
2021年 染織コース卒業
現在、霧島ホールディングス株式会社勤務

霧島ホールディングス株式会社
https://www.kirishima.co.jp/











染織コース卒業
田中 はな
Tanaka Hana

デザインコース／
イラストレーションクラス卒業

村田 遼太郎

Murata Ryotaro



受験の決め手は、ディズニーとのリアルな話。

祖母が絵描きだったため、小さい頃から絵を描く環境があったので気がついたら絵を描くようになっていました。中学生の頃にはコンクールなどに自主的に作品を出していましたし、高校に進学してからも美術コースを選択し、油絵や水彩画を描いていました。そのため、芸大受験は自然なことでした。奈良芸を受験したのは、オープンキャンパスでデザインコースの先生でディズニーUS公式イラストレーターのカズ・オオモリ先生の講義を受講したことが決め手となりました。イラストレーターとしてディズニーとのお仕事のプロセスや映画公開の際に使われたポスター作品などを見せていただき、実際の制作現場で行われていることを話してくださったことは凄く新鮮でした。また、将来やっていきたいと感じていたことに近かったこともあり、具体的な相談ができると思いました。

デザインの本質を学ぶ。

イラストレーションクラスでは、アナログとデジタル両方の面からさまざまなアプローチを教えていただきました。また、作画やデジタルイラストレーション、絵本制作などイラストレーターとしての役割や表現方法も学びました。そして、授業でボードゲームをつくった際、その制作過程で描画等の技法や目的に沿った表現方法、デザイナーとしての視点などさまざまな要素が必要とされているということを知れたことで、デザインの本質を学べたように思いました。

積極的に行動することで道は開ける。

奈良芸は少人数制ということもあり、先生との距離がすごく近いため、学生一人ひとりに対して進度に合ったお話をしてくださいます。その中で、普段疑問に思っていることや課題のことなどは積極的に聞くようにして不安材料は解消し、先生の話は深く掘り下げて理解するように努めました。良い学習環境と素晴らしい先生方がいらっしゃるので、積極的に行動すれば道は開けるように思います。そして、入学前から決めていたことですが、奈良芸は2年間で中学校美術教諭の資格を取得することができるので、それらの単位を修得して中学校美術教諭二種免許状を取得しました。

作家として活動していく。

現在は、地元の図書館で働きながらイラスト作家として年に3〜4回個展を開催したり、イベントに参加するなどの活動をしています。個展を開く際には毎回テーマを設けるのですが、今回はお借りするお店の雰囲気が自分の好きなジャズと合うと思い、音楽と絵を掛け合わせた「SESSIONS」（セッションズ）という個展を開催しました。そして、これらの作家活動の中で知り合った方とのご縁で、来年から札幌のデザイン事務所でイラストレーターとしてお仕事をさせていただく予定です。将来的にはイラスト作家として独立することを目標にしています。

絵は楽しく長く描き続けるもの。

自分は課題制作になると、求められていることに応えようとか、わかりやすく表現しようということにこだわり過ぎて作品のクオリティが下がるんです。(笑) 求められることに応えようとして、課題に取り組む姿勢やバランスを崩して挫折してしまう人もいると思いますが、考えすぎずに楽しみながら、長く続けられるように自分なりの方法を見つけて頑張ってほしいと思います。そして、芸大は同志が集まる場所なので、そこで出会う友達や先生方との関わりを大切にしてください。









Profile
村田 遼太郎さん

北海道出身
2021年 デザインコース／
イラストレーションクラス卒業
現在、イラスト作家



大賞：百田 匡広 「自彊不息」 三重県立上野高等学校



準大賞：近藤 葉月 「３年間共に歩いてきた」
京都共栄学園高等学校



準大賞：水谷 友香 「抱擁」 エクセラン高等学校

全国公募 第６回鉛筆デッサンコンクール

本学主催の全国公募「第6回鉛筆デッサンコンクール」には17都道府県、32高等学校、2研究所から288点の応募があり、厳正なる審査の結果、大賞、準大賞を含む41点の入賞・入選作が選ばれました。大賞及び準大賞受賞者で、本学入学者には副賞として奨学金が授与されます。

明日香の宿の襖絵

奈良県の明日香村にある古民家を再生した宿がオープンしました。こちらを管理する会社からの依頼を受けて、専攻科／日本画の永山政士郎さん／1回生が宿の襖絵を制作しました。この襖絵『四神』を見ながら、明日香の空気を感じていただけるとありがたいです。











鯉が光る

連携協定を結んでいる奈良県の王寺町から依頼を受け、デザイン広報サークルの学生たちが「鯉のオブジェ」をリメイクしました。蓄光塗料も使っているため、夜には光る鯉を見ることができます。







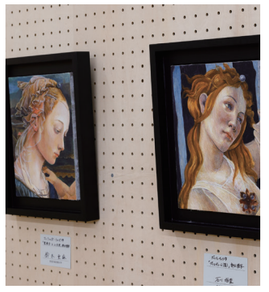
オンライン卒業・修了制作展

2022年2月19日～21日に第54回美術科・専攻科卒業・修了制作展が開催されました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、残念ながら一般・卒業生の方のご来場をお断りしての開催となりましたが、学園祭に続き無事に開催することができました。それでもやっぱり学生たちの2年間、4年間の汗と涙の結晶の作品を観ていただきたいので、会場の雰囲気をオンライン卒展というカタチで観ていただけるように、画像をアップしました。QRコードを読み込んでお楽しみください。









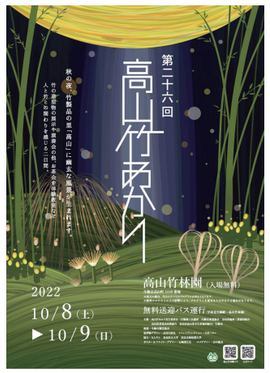








※展示者の許可なく画像等の無断転載・無断使用をすることは禁止です。



2022高山竹あかりポスター完成

竹製品の里、奈良県生駒市の高山で毎年開催されている、夜の静寂を楽しむイベント「高山 竹あかり」が今年も開催されました。2014年から産官学連携を行っているデザイン広報サークルでポスター等のデザインで関わらせていただき、デザインコースの石崎菜月美さん／2回生の案が採用され、2022年のポスターが完成しました。



CMが出来ました

奈良県内に本店を置く唯一の銀行、南都銀行さんのCMを奈良芸広報サークルの学生たちが制作しました。また、声やBGMは全て南都銀行の職員さんたちが担当しました。初めての試みが多かったですが、学生たちは楽しそうに制作していました。



千客万来!ならCoCo

奈良テレビ放送の「千客万来!ならCoCo」にて、本学が紹介されましたので、ぜひご覧ください。





カワニシFAMILY HOLIDAY

奈良県の川西町にある結崎駅がリニューアルオープンしました。オープニングイベント「カワニシFAMILY HOLIDAY」が開催され、デザイン広報サークルの学生たちがビニール傘を制作するワークショップを実施しお手伝いしました。

高等教育の修学支援新制度

本学は、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、昨年度から引き続き、「高等教育の修学支援新制度」(授業料等減免と給付型奨学金)の対象機関となりましたので、お知らせいたします。本制度の詳細につきましては、文部科学省「高等教育の修学支援新制度」をご参照ください。



染織コース特別講義 井隼慶人先生

本学の客員教授井隼慶人先生の講義に、染織コースの全学生とクラフトデザインコースの一部の学生が参加しました。講義では制作に対する深いお話をしていただいたり、井隼先生の毛筆画やスケッチをたくさん見せていただきました。すぐに理解しにくいことや答えが出ないことがあれば焦るでしょうが、感じたことや疑問に思ったことを忘れず、制作に向き合い続けていくことで、見えてくることがあると感じました。



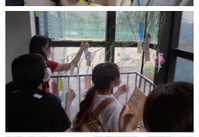


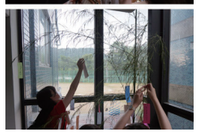
七夕

クラフトデザインコースの先生が笹を持ってきてくださったので、学生たちは短冊に願いを書き、「高いところに着けたい!」と言いながら笹に結んでいました。今年は晴れたので星が出ていました。願いが叶うといいな。







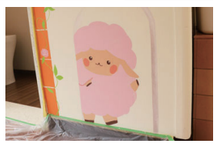


幼稚園のトイレをリニューアル

本学と同学園で同じ敷地内にある聖心幼稚園のトイレを、夏休み期間中に可愛くリニューアルしました。可愛らしいイラストの数々は洋画コースの学生たちが、幼稚園に通う子どもたちがトイレを怖がらずに楽しく過ごせるようにと考えて描いてくれました。それぞれのトイレによって絵柄が違うので、見ているだけで楽しくなります。







アーっト驚く学生さんフェス

MBS（毎日放送）の夕方の人気帯番組よんチャンTVの人気コーナー「アーっト驚く学生さん」で、これまで番組で紹介された、大人顔負けの才能あふれる凄技を持つ関西の学生たちを集めたフェスがMBS内のフロアで開催されました。本学の学生も2名出展したためお邪魔してきました。









